<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
</table>
| タイトル   | 『スコットランド歴史学派の一員としてのウィリアム・ロバートソン』  
|           | 『古典的歴史社会学』と古典的政治経済学の成立との相互関係についての研究の一節 |
| 作者       | 大野 精三郎                                                           |
| 雑誌名     | 一橋論叢                                                                |
| タイムスタンプ | 1961-09-01                                                            |
| タイプ       | Departmental Bulletin Paper                                            |
| リンク       | http://doi.org/10.15057/3450                                           |
（21）『スコットランド歴史学派』の一員としてのウィリアム・ロバートソン

ウィリアム・ロバートソン

—古典的歴史社会学と古典的政治経済学の成立との相互関連についての研究の一節—

本稿は、最近のバスクールミーク教授の問題提起に示唆をうけ、十八世紀中葉のスコットランドの生んだ最大の歴史家ウィリアム・ロバートソンの歴史的著作を『スコットランド歴史学派』の共通の課題と方法とに関連させて統一的に理解し、その特徴を明らかにし、あわせて、古典的政治経済学の成立果実に果たした役割と意義を明らかにすることにある。これまで、ロバートソンはこの学派から象徴・孤立化されておもに、歴史学の見地から、『この時代の最大の文化史家』（Hume, Essays, ii, 287）であるとの讃辞が贈られ、そのように評価されてきた。しかしバスクールミーク教授は、ロバートソンおよび同時代のスコットランドの輩出したダビッド・ヒューム（Hume）

ダム・スミス（Smith）、ファーガソン（Ferguson）、アダム・ファーガソン（Adam Ferguson）など、かれらの歴史社会学の研究を統一的にみる必要を強調し、かれらに共通し、かれらの特徴をなす理論的核心が歴史の唯物論的解釈にあることをはじめて明らかにした。ミーク教授は、このバスクールの見解を全面的に踏襲することともに、さらに種々の歴史学の唯物論的理論が同時代に成立

219
した古典的政治経済学を生みだす母胎となったばかりで
なく、政治経済学の方法と形態を決定したという歴史
社会学と古典的政治経済学の成立との相互関連の問題を
はじめに提起した。ここで改めてロバートソンの歴史学
のなかでわれの特徴と重要性を再評価するという課題
が生まれてくるのである。

だが最初に示されなかった「ロバートソン歴史学
派」の共通の課題と方法とそのなかで再検討し、この学派
のなかでわれの特徴と重要性を再評価するという課題
『スコットランド歴史学派』の一員としてのウィリアム・ロバートソン

社会在欧洲，从的两数和的罗马

『アメリカ史』（The History of America，1779）

【古代インドの史的研究】（An Historical disquisition concerning the ancient land of India, and the discovery of the passage from Europe to the Cape of Good Hope. With an appendix containing observations on the civil policy, the laws and judgements, and the religious institutions of the Indians 1791）

Perfed, an account of his life, and writings, by

Ingard Stewart. 1800. 14 p.
人々の歴史研究は、この時代のイギリスの当面した政治的危機の間から生まれた政治的問題の解決を目指すものであった。この時期のイギリスは、対外的にはポルトガル、スペイン、オランダの興亡のあらゆる関連にあたって、対内的には、一方で戦争（七五八三）に突入した。対内的には、一方で戦争（七五八三）に突入した。対内的には、一方で戦争（七五八三）に突入した。対内的には、一方で戦争（七五八三）に突入した。
(25) 『スコットランド歴史学派』の一員としてのウィリアム・ロバートツン

彼らの習慣や社会制度の記述がますます広く注目されるに至ったが、旅行者や布教師たちによって、これらの民
族のなかの最も野蛮な、最も低級なものが、あってもで
家族群、村落共同体の柱をなしに、共同生活を送っている
ことが報告されたという事実である。従って、隠れた人
間もしくは孤立させる家族というものが、ひとつの虚構であ
るイギリスの政治、宗教である。

『スコットランド歴史学派』のこのように広汎の課題
における研究に、いかなる概念から論じようとするか
は、通常、研究課題にかかわらず、凡例の研究を
研究する形をとったが、これらは、つまり社会学の
研究においての問題にまかされていた。かくれの歴史
学派は、これまで、この研究の過程として、さまざまな課題を
どのように理解するか、さまざまな文化的変異をどのように
解釈にたつのか。

『スコットランド歴史学派』のこのように広汎の課題
における研究に、いかなる概念から論じようとするか
は、通常、研究課題にかかわらず、凡例の研究を
研究する形をとったが、これらは、つまり社会学の
研究においての問題にまかされていた。かくれの歴史
学派は、これまで、この研究の過程として、さまざまな課題を
どのように理解するか、さまざまな文化的変異をどのように
解釈にたつのか。

『スコットランド歴史学派』のこのように広汎の課題
における研究に、いかなる概念から論じようとするか
は、通常、研究課題にかかわらず、凡例の研究を
研究する形をとったが、これらは、つまり社会学の
研究においての問題にまかされていた。かくれの歴史
学派は、これまで、この研究の過程として、さまざまな課題を
どのように理解するか、さまざまな文化的変異をどのように
解釈にたつのか。
境内および社会的発展から明らかにしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明らかにしようとしようとしたばかりで、国により社会的発展から明ら
『スコットランド歴史学派』の一員としてのウィリアム・ロバートソン

事件の多変な生起は、この時期の歴史を、興味津やるしめるのみならず、これから君主のなにびときにも度の進出を敢えてすることならしめ、かれらの機性が卓越の域に達して、人類の自由と幸福を乱すに至るがどとき、まさにならば実効があった。（

『アメリカ史』において、ロバートソンの主題は、大曰く、アメリカの植民地の創設について、カール五世時代の

北アメリカの植民地の創設について、カール五世時代の歴史に於いて加わったスペインによるスペインの征服、その

点において、ロバートソンの特徴がある。

アメリカ史において、ロバートソンの主題は、大曰く、アメリカの植民地の創設について、カール五世時代の

北アメリカの植民地の創設について、カール五世時代の歴史に於いて加わったスペインによるスペインの征服、その

点において、ロバートソンの特徴がある。

アメリカ史において、ロバートソンの主題は、大曰く、アメリカの植民地の創設について、カール五世時代の

北アメリカの植民地の創設について、カール五世時代の歴史に於いて加わったスペインによるスペインの征服、その

点において、ロバートソンの特徴がある。
ロパトソンの持った方法はいかがれば、かれの歴史社会学的方法に従って、ロパトソンの全著作の意義を問う必要となってくるのである。

ロパトソンをふくむこの学派の基本的見解によれば、「人間は根拠により、自然の手からあらわれるように」という問題は、

ロパトソンの主題と関係の推移を明らかにしたわれわれは、かれの個々の著作の主題からはなれて、この問題について考察されるべきである。
川、湖沼、気候関係の総体といえば、かかる気候の変化による影響。自然的・政治的・文化的影響が、社会の状態はあらゆる地方で、気候の力は決定的に影響を与える。人間の生活を規定する決定的影響力は、自然の環境でなく、人間の努力が自然の手に帰しているものであることがわかる。人間の気候と慣習は、かかる地方の歴史的変化を経て形成される。かれは、社会の状態を理解されているように見える。それにみすれば、いずれにせよ、この学術のなかでの物論的見解がロバートソンのなかに集約的にあらわれていると
二つの特徴が生まれる。その知的諸力は数多くかつ活気が認められ、それによって考えられる。その感情と努力は数多くかつ活気が認められ、それによって考えられる。その感情と努力は数多くかつ活気が認められ、それによって考えられる。その感情と努力は数多くかつ活気が認められ、それによって考えられる。
同じである。すなわち「社会契約論者」の主張するよう
に、人間が単独で、もしくは個々の家族をなしで生活し
たといわれる『自然状態』の想像を、ひとつつの仮想にすぎ
ない」という考えである。ただ子供の扶養を必要とし、そして子
供が親とともに長期間いることを必要とし、そして子
供が親とともに長年時代を過ごしたあとにあっても止むことが
できない。というのは野営に対する人間の貧弱な防衛
力は必ずしも、新らに生まれた人間をしのうとして多
くの弱い動物類が集団をなしで生活していると同じく、
旧来の家族の成員のあいだに止まっていたことを余儀な
くさせるからである。そこで、アメリカの土着民の社会
が、それは『形式的な一致、または無揚かからのというより
少し、本能、習慣、便宜からにすぎないので』（ハミルト
ン）である。
この政策的结合（オイ・オイ・オイ）の形態と政策は、
この結合のなかにある諸家族の生活資料の獲得の方法に
よって規定される。その様式が変われば、それに応じて
かれらの法律または政策も変わらなければならない
ならぬ。
獲得は、実質文化の発展と結びついている。人間は自身の労を助ける家畜を養い、それによって生活の配慮から部分的に解放され、文化的発展への余裕をうることになる。この過程は、自然を支配する道をみいだすことになる。この家畜の飼養のなかに人間の「米くれた特権」がある。これが私有財産の獲得と使用とのが加わり、人間はより高次の発展のための現実的な手段をもつことになるのである。

この段階での政治では、対外政策の遂行は、家の前段階とからして、時折にすぎない。むしろ私有財産の制度が必至的につくった国内諸関係を支配することになるのである。ただしこの私有財産は、正規の政治のいろいろの施設を樹立することに人類を導いた主要な動機であるのみならず、また法と政治との大きな対立を生じているのである。当時を中心にして、ローマ帝国の没後より第十六世紀に至るヨーロッパの進歩を観察し、ヨーロッパ諸国の農業社会内での土地保有形態の変遷をとらえ、それと政治形態との関係をみいだしている。すなわち君主と貴族の政治的諸関係を土地保有形態の変遷からあとづけている。封建時代の当初貴族が国王から育てた恩地（セーラ）は、貴族とその男系についで領収の男系についで領収の男系につんで拡げられた。この段階において、土地は封地（カフ）として授与され、保有されたのである。その結果、ヨーロッパの大半の土地において、高い官職は世襲的となったのである。

この過程をローマhistoriaはつきのよう総括している。
ロバートソンは、中世のヨーロッパ社会と関連させ
て、イネとを位置づけている。イネは古代のヨーロッパ人が最初に同国を訪れると、王国が土地の唯一
の所有者であり、かれらが保有する上昇
の地位を得たのである。石器時代のイネ
は、政治的形態や精神と非常に大きな影響を及ぼすことが
なかった。それは、これまでの代表者たちをもた
ない状態が存在していたのである。石器時代のイネ
は、政治的形態や精神と非常に大きな影響を及ぼすことが
なかった。それは、これまでの代表者たちをもた
ない状態が存在していたのである。石器時代のイネ
は、政治的形態や精神と非常に大きな影響を及ぼすことが
なかった。それは、これまでの代表者たちをもた
ない状態が存在していたのである。石器時代のイネ
は、政治的形態や精神と非常に大きな影響を及ぼすことが
なかった。それは、これまでの代表者たちをもた
ない状態が存在していたのである。
かれたのひだした重要な教訓のひとつは十六世紀にお
ける国際的立場を、武力によって解決することの無意義
さであり、国際均衡による国内の商業の発展を計るこ
とに互いに類似の状態にあり、向上的速度がお互いに相等
しいもののだから、突然に征服されてしまい危険はない。
その国の資源も多種多量である。ただその国の
堅固な安全を計ったり、自国の国防に渋々たる止まるよ
うなものではない。他国の干渉があれば、その一方向
かも破滅すると自国の国力を利用する戦略を
取る。戦略を決定するものは、戦前とはほとんど変わることの
ない国
力・国士にかかっているのである。その四ページ
に
 caráトロッパのすべての国において自由に有利な
術の努力はほとんど議会におけるこの新たな努力
によってなされたものである。それらの重要さは次第に少なくなっ
ていた。貴族の特権は次第に消滅なものとなったのであ
る。三頁ページ
かれて十六世紀に至る、封建制度の崩壊と商業の
発達により、ほぼ政治的性格を同じくする国家群が登場
してきた。ロバート・サッポラの国家的立場のなか
カレの歴史叙述の主要
部分はカール五世およびフレンチス一世の対立におよ
する軍事遠征であり、それから教訓をひきだすことを直接の
目的としているけれども、これはこのような対立を支
え、現存している諸国を、とうや経済的燃えと関連に
注目を怠っているわけではない。それは考ええずですら
断片的であるがそのいくつかを引用しておこう。
ロバートソンの興亡であろうし、スペインはこの世紀のはじめ
Spainの興亡であろうし、スペインはこの世紀のはじめ
ってできた。ここで、この観点すなわち歴史社会学的観点
からみたスペインの社会経済学の成立に果した意義と役割を論的に明らかに
しておこう。この学派のなかでのかれるの特徴は、第一に、人間社会
の歴史過程に作用する諸要因を広く考察のなかにとり入れ、鋭く分析したことにあら
ちがう意味をもつこと、人間社会の発展段階によって
の一面性にとらわれないで、社会発展の差異を生み出す
かれる自然諸条件でさえ、人間社会の発展段階によって
の特徴は、第二に、社会内部の諸要因の分析に於て進むことができた。かれる
変化を媒介として権力関係に影響することを明らかに
と、この原理を歴史に適用した。そして政治形態と政策
が、とくに生活資料の獲得の方法によって規定され、後者が変化することによって、前者が変わる、そし

（35）『スコットランド歴史学派』の一員としてのウィリアム・ロバートソン

て政治形態が宗教、科学および慣習、いわば国民の性格を規定すること、すなわち人間の社会的、文化的発展におけ
る政治の卓越した意味を明らかにする社会発展をこの観点から捉え、世界史把握をこの学派のなかではじめて試みたのである。この観点からみれば、ロパトソーンの
の関連の問題を提起し、深める、古典的政治経済学への成
立に寄与したのである。

だが同時に、ロパトソーンの歴史社会学は、この学派の
他の人々と同じく、大きな制約をまぬかることで、
きなかった。すなわち、社会の発展の問題を、個人の精
神、知力の発達の過程に経済の問題を意味するが、その
方法の変化が理論の発達、すなわち将来的の生活の配

立アグマ・スミスの『諸国民の富』におよぼした直接
的な意義について、とくに強調されなければならぬこ
とは十六世紀以前、ヨーロッパ全体の視点からみるべき
ことである。このことはスミスの『諸国民の富』が『国民の富』
でなく、まさに『諸国民の富』を取りあげる機縁を与
えたように思われる。そしてスミスの第四篇の国際関係
先行していることの意味、すなわちスミスが経済社会の
のなかでの国家関係が、第五篇の一国の政治の問題より
先行していることを意味している。ロパトソーン
の平均的経済の学びを、平和と通商の自由を強調し、国家の任
務に第一に防衛を

ロパトソーンの歴史社会学の古典的政治経済学への成